

「関西広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」（案）に関するご意見・ご提案と関西広域連合の考え方

平成28年1月

関西広域連合観光・文化・スポーツ振興局 スポーツ部

「関西広域スポーツ振興ビジョン（仮称）」（案）に関する府県民意見等を募集した結果、8名から延べ29件（うち意見の公表を望まないもの3件）のご意見・ご提案をいただきました。いただいたご意見に対する関西広域連合の考え方は下記のとおりです。

1 ビジョンの内容に対するご意見について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
1	<p>子ども達のスポーツ入門という意味において総合型地域スポーツクラブの役割強化は理解できます。ただし、それを維持していく地域コミュニティの衰退の潮流にどう対応していくかが別の課題としてあると思います。</p> <p>一方、青壮中年のスポーツ環境に関する記述がない点はいかがなものでしょうか。</p> <p>青壮中年期は仕事優先や家庭構築時期で時間がないのは仕方がないと考えますが、かつての企業スポーツが盛んであった頃と異なり（当時のその世代がシニア世代でもスポーツに親しみ続けているとも言えるでしょう。）、社会や経済のグローバル化、IT化の中で特に都市労働者は24時間、365日の稼働が求められている中ではスポーツをしたくてもできる条件が整っていないのではないのでしょうか。</p>	<p>「総合型地域スポーツクラブを維持していく中で、コミュニティの衰退の潮流にどう対応していくか」への対応については、戦略Ⅰの①主な取組の具体例として、「同様の課題を持つ近隣府県同士で県境を越えた交流会の実施」を掲げていますが、今後もコミュニティの活性化に向け、関西圏域内で連携して実施する取組を検討します。</p> <p>また、「青壮中年のスポーツ環境」については、「1スポーツをめぐる現状と課題」の「（1）生涯スポーツの状況【中年期・高年期】②課題」の中で、「スポーツへの高い関心に応えられるような多様な活動機会を提供する取組を行うなど、…効果的なアプローチを検討することが必要である」と記載しているとおり、環境整備にむけた取組を検討します。</p>
2	<p>「女性スポーツと健康」に関して、特色ある施策を打ち出せないでしょうか。</p> <p>日本産婦人科学会では、平成26年9月に神戸市で女性アスリートと健康についてシンポジウムを開催し、スポーツと女性の健康について取り組みを進めています。先日の朝日新聞社説（H28.1.13）においてもスポーツと女性医学についての問題提起がなされています。</p> <p>これは女性に限定されるものではありませんが、スポーツ医学はトップアスリートに集中的に投下されるのはやむを得ないとはいえ、広く市民レベルにも提供できる環境を関西で考えられないでしょうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、戦略Ⅲの⑨「スポーツ関連組織とのネットワーク形成」に「医療関連産業も集積しており、先端医療研究機関や高度専門病院、医療関連産業などが集中している」を追記するとともに、検討事項の記述に「スポーツ医学研究の推進」を盛り込み、スポーツ関連産業と融合したスポーツの振興方策等を検討します。</p>
3	<p>兵庫県神戸市のポートアイランド2期には医療産業の集積があることから、スポーツ医学との連携で特色を打ち出せないでしょうか。</p>	
4	<p>P3(2)競技スポーツの状況 ①現状の記述に、神戸市が誘致開催した、1985年のユニバーシアード神戸大会の記述が漏れていると思います。いまや各地にある総合運動公園の先鞭であり、オリンピックに次ぐ国際総合スポーツ大会といえるとおもいます。その後開催されたフェスティック神戸大会は国際的かつ総合的な障害者スポーツ大会でした。</p> <p>海外から窓口であった神戸のスポーツの歴史にも目を向けていただきたいと思います。</p> <p>また「2002FIFAワールドカップ・国内キャンプ誘致」とありますが、大阪市、神戸市は開催地となっているので明確に記述してほしいと思います。</p> <p>2019ラグビーワールドカップについても触れてはいかがでしょうか。</p>	<p>競技スポーツの状況については、関西圏域内で過去に開催された国際大会等の実績は相当数あるため、開催から概ね20年が経過していない大会に絞り込んで記載していることから、「ユニバーシアード神戸大会」は記載していません。</p> <p>また、「2002FIFAワールドカップ・国内キャンプ誘致」や「2019ラグビーワールドカップ」などの開催地名の記載については、関西が一体となって取り組んでいくビジョンであることから、大会名等には特定の開催地名を記載しないこととして整理しています。</p>

## 2 目標達成のための戦略について

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
5	「関西広域連合」がご当地マラソンの「とくしまマラソン」、「大阪マラソン」、「京都マラソン」、「神戸マラソン」、「奈良マラソン」を応援する。	関西広域連合では、ビジョンの実現に向けて、構成府県市が連携した一体的な取り組みを推進することとし、今後、具体的な事業を企画していく中で、ご提案いただいた取り組みについても参考にします。
6	「関西広域連合」がサッカーJ1の「ガンバ大阪」、「ヴィッセル神戸」、J2の「徳島ヴォルティス」、「セレッソ大阪」、「京都サンガFC」、J3の「ガイナーレ鳥取」、「ガンバ大阪U-23」、「セレッソ大阪U-23」を応援する。 ※具体的には個別の対戦カードに応じて「関西広域連合」の冠をつける。	
7	「関西広域連合」の主催で構成府県の持ち回り方式による「関西広域連合住民体育大会」を開催する。	
8	「関西広域連合」が平成29年10月に徳島県三好市の吉野川で開催する「世界ラフティング日本大会」（日本初開催）を応援する。	
9	「関西広域連合」が健康保持増進の目的で構成府県に徳島県の「阿波踊り体操」を普及促進を行う。	
10	「関西広域連合」が阿南市役所の野球のまち推進課の「野球のまち・阿南」の取り組みの支援を行う。 ※大阪市立大学野球部が「アグリあなんスタジアム」で野球合宿を行う。 ※昨年春の選抜高等学校野球大会で優勝した敦賀気比高校が「アグリあなんスタジアム」で野球合宿を行う。 ※「アグリあなんスタジアム」での「阪神タイガース・二軍」対「徳島インディゴソックス」の交流練習試合の実施	
11	「関西広域連合」が「2020年夏季オリンピック東京大会」の追加種目となる予定のサーフィン種目において徳島県海陽町でのサーフィン会場の支援を行う。	
12	「関西広域連合」と「コナミ&スポーツライフ」と「スポーツ振興に関する包括的な連携協定」の締結を行う。	
13	「関西広域連合」と「大阪体育大学・体育学部」又は「天理大学・体育学部」と「スポーツ振興に関する包括的な連携協定」の締結を行う。	
14	「関西広域連合」が主体となって構成府県内の地域全体を「自転車王国・関西サイクル・ツーリズム」を推進する。 ※具体的には「ツールド・関西」の開催を行う。	
15	「関西広域連合」が日本陸連の承諾を得て、関西広域連合の構成府県の持ち回り方式による「関西広域連合・構成府県対抗女子駅伝大会」及び「関西広域連合・構成府県対抗男子駅伝大会」の開催を行う。	
16	「関西広域連合」が「徳島駅伝」の応援を行う。	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
17	関西広域連合、各スポーツ競技団体、スポーツ指導者等で「関西広域連合・スポーツ懇話会」を発足させる。	関西広域連合では、ビジョンの実現に向けて、構成府県市が連携した一体的な取り組みを推進することとし、今後、具体的な事業を企画していく中で、ご提案いただいた取り組みについても参考にします。
18	「関西広域連合」が主体となって「琵琶湖就航の歌」（旧制第三高等学校寮歌）を元に構成府県内でボート競技やカッター競技の普及促進を行う。	
19	「関西広域連合」が健康の保持増進を目的として、「ノルディック・ウォーク」の普及促進を行う。	
20	「関西広域連合」が健康の保持増進を目的として、「競歩」の普及促進を行う。	
21	大阪教育大学、京都教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、鳴門教育大学における各保健体育コースの充実による資質の高い「体育指導者」の人材養成を行う。	
22	<p>戦略Ⅱ⑥スポーツ人材の育成において、競技大会での役員確保を課題にあげていますが、これについても就労先の理解があつてこそ実現するものであると考えます。関西広域連合内の企業に対し、勤労者スポーツへの理解を訴えていくことが肝要ではないでしょうか。企業が保有する運動施設の変化等を調査してみてもいいでしょうか。</p> <p>成人であっても子どもを通じて総合型地域スポーツクラブへのかかわりが持てるとは思いますが、晩婚化、少子化、単身世帯の増加の中では地縁団体との関わりそのものが不足しています。</p> <p>戦略Ⅲについて</p> <p>スポーツツーリズムの点で、誘致力を高める視点から、国際大会が開催可能な大規模な競技施設とは別に、プレーヤーズファーストの視点から、大会開催時の練習会場として充当できる施設群の整備を提案します。主会場を支える補助会場群を合わせて整備もしくは連携したうえで誘致に臨むべきでしょう。</p> <p>スタンドはなくともよく手入れのされた競技施設と必要十分な設備（たとえば温水シャワーや空調設備、放送設備）を備えた施設は、通常の市民施設（発生時の緊急避難場所としても）として活用し、競技スポーツ・生涯スポーツのレベル向上に寄与する施設たり得ると考えます。</p>	
23	<p>各種スポーツ大会、スポーツイベントに付随する話、いわゆるスポーツツーリズムに関わる提案です。（大したことはありませんが）</p> <p>大会、イベントの際、会場近くの観光名所案内や名物、特産物巡りを併せて実施すると双方にとって効果があるようです。</p> <p>つまり、夫が大会に参加している最中、妻と子は近くの観光ツアーに参加している。もしくは食べ歩いているという感じです。大会と同じくらい観光ツアーをパッケージしてPRすると参加者がかなり増えると聞きました。参加者及び見学者増に向けて今以上に考えてみては如何でしょうか。</p>	
24	いろいろなスポーツ大会に、アシックスやミズノなど、スポーツに関係する企業が出店して、スポーツ選手に商品を説明したり、試したりできるような機会を作ればいいと思う。	

整理番号	ご意見・ご提案	関西広域連合の考え方
25	<p>私は今、馬術競技のオフィシャルとして活動しています。三木市には日本最大級の施設がありますし、日本でも国際競技が開催されています。が、一般からの認知が少ない実態があります。このようにオリンピック対象種目でありながら、マイナー競技として活動している団体に向けた対策（補助など）をいただけませんか？</p>	<p>関西広域連合では、ビジョンの実現に向けて、構成府県市が連携した一体的な取り組みを推進することとし、今後、具体的な事業を企画していく中で、ご提案いただいた取り組みについても参考にします。</p>
26	<p>戦略Ⅲ「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現に向けた戦略は、時宜にかなういい内容だと思います。 ビジョンは素晴らしいものが提案されました。あとは、実現に向けての取り組みが大切だと思います。関西全体で取り組むことは簡単ではありませんが、関西全体だからこそ実現できれば効果は大きいと思います。ぜひ頑張ってくださいと思います。</p>	